



2025年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社シンカ 上場取引所 東
コード番号 149A URL <https://www.thinca.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江尻高宏
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 市川裕二 TEL 03-6721-0415 (代表)
定時株主総会開催予定日 2026年3月27日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2026年3月26日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期の業績（2025年1月1日～2025年12月31日）

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	1,464	18.8	60	△23.0	62	27.2	42	167.2
2024年12月期	1,232	18.5	78	△23.0	48	△50.3	16	△85.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年12月期	13.48	13.02	4.2	4.9	4.1
2024年12月期	5.27	5.08	2.3	5.5	6.3

(参考) 持分法投資損益 2025年12月期 ー百万円 2024年12月期 ー百万円

(注) 当社は、2024年3月27日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2024年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から2024年12月期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	1,279	1,047	81.9	326.69
2024年12月期	1,228	978	79.6	309.07

(参考) 自己資本 2025年12月期 1,047百万円 2024年12月期 978百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	79	△63	△3	984
2024年12月期	101	△64	615	972

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2026年12月期の業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,858	26.9	△579	—	△580	—	△546	—	△170.12

(注) 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。詳細

は、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（2）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年12月期	3,206,320株	2024年12月期	3,164,320株
2025年12月期	一株	2024年12月期	一株
2025年12月期	3,186,649株	2024年12月期	3,051,902株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(表示方法の変更に関する注記)	9
(持分法損益等)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費や企業の設備投資に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、海外経済の動向や資源・エネルギー価格の変動、物価上昇や金利動向等の影響もあり、先行きが不透明な状態が続いております。このような状況下で、当社は、主に販売注力業界である自動車業界を中心にカイクラの継続的な販売とサービス提供に努めてまいりました。その結果、当事業年度のカイクラアクティブユーザー数は3,182社（前事業年度末比10.1%増）、6,202拠点（前事業年度末比9.8%増）となりました。この結果、売上高は1,464,358千円（前事業年度比18.8%増）、営業利益は60,108千円（前事業年度比23.0%減）となりました。さらに、前期に計上していた上場関連費用や事務所移転費用の一過性費用が剥落した一方、受取利息及び支払利息の増減等により、経常利益は62,030千円（前事業年度比27.2%増）、当期純利益は42,955千円（前事業年度比167.2%増）となりました。

なお、当社の事業セグメントは、単一セグメントでありますので、セグメント別の記載は省略しております。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当事業年度末における流動資産合計は1,126,296千円となり、前事業年度末に比べ20,448千円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が12,449千円増加、前払費用が8,113千円増加したことなどによるものであります。

固定資産合計は153,389千円となり、前事業年度末に比べ30,280千円増加いたしました。これは、主にソフトウェアが20,433千円増加、敷金が15,150千円増加、繰延税金資産が9,864千円減少したことなどによるものであります。

この結果、資産合計は1,279,685千円となり、前事業年度末に比べ50,729千円増加いたしました。

（負債）

当事業年度末における流動負債合計は232,219千円となり、前事業年度末に比べ18,725千円減少いたしました。これは、主に短期借入金が30,000千円減少、未払消費税等が14,860千円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は232,219千円となり、前事業年度末に比べ18,725千円減少いたしました。

（純資産）

当事業年度末における純資産合計は1,047,466千円となり、前事業年度末に比べ69,454千円増加いたしました。これは、当期純利益の計上により繰越利益剰余金が42,955千円増加したこと、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ13,249千円増加したことによるものであります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、984,502千円となり、前事業年度末に比べ12,449千円増加いたしました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は79,336千円（前事業年度は101,623千円の収入）となりました。これは、主に税引前当期純利益62,030千円の計上、減価償却費及びその他の償却費22,793千円、未払消費税等の増減額14,860千円により増加したこと、法人税等の支払額22,718千円により減少したことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は63,385千円（前事業年度は64,918千円の支出）となりました。これは、無形固定資産の取得による支出38,766千円、敷金及び保証金の差入による支出16,112千円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は3,501千円（前事業年度は615,807千円の収入）となりました。これは、短期借入金の返済による支出30,000千円、新株予約権の行使に伴う株式の発行による収入26,498千円によるものであります。

（4）今後の見通し

当社は、「カイクラ」のニーズの高い自動車業界・不動産業界などでの販売活動に注力することに加え、さらに

その販売注力業界を拡大していくことで、アクティブユーザー拠点数を増加させることを計画しております。また、「カイクラ」の新規プランの販売やSMS送信数増加による従量課金売上増加により、カイクラユーザー1拠点あたりの売上単価であるARPAを向上させることを計画しております。このように、当社の収益の基盤であるアクティブユーザー拠点数とARPAを同時に増加・向上させることで、さらなる成長を実現していく方針です。

また、次の成長ステージへの飛躍を見据え、人材採用・育成への投資をはじめ、認知拡大および利用促進を目的とした広告宣伝投資、ならびに「カイクラ」の価値向上に向けた開発投資を積極的に実施してまいります。加えて、業務効率化やサービス高度化および新規事業創出を目的としたAI技術の活用・導入にも大きく投資してまいります。

これらの成長投資により、次期においては一時的に費用が増加し、収益性が低下する見込みではありますが、将来の収益基盤拡大および競争力強化を図るためのものであり、中長期的な成長の実現に向けた一過性のものと考えております。

以上の結果、次期の業績の見通しにつきましては、売上高1,858百万円（前年同期比26.9%増）、営業損失579百万円（前年同期は営業利益60百万円）、経常損失580百万円（前年同期は経常利益62百万円）、当期純損失546百万円（前年同期は当期純利益42百万円）を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際的な事業展開や資金調達を行っていないため、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	972,053	984,502
売掛金	85,525	79,088
商品	17,384	19,066
前渡金	—	1,552
前払費用	18,125	26,239
その他	13,306	16,366
貸倒引当金	△548	△520
流動資産合計	1,105,847	1,126,296
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	30,568	33,889
工具、器具及び備品	26,878	30,054
減価償却累計額	△15,679	△21,071
有形固定資産合計	41,767	42,871
無形固定資産		
ソフトウェア	28,999	49,433
ソフトウェア仮勘定	23,575	27,076
特許権	283	1,200
商標権	—	1,487
その他	1,882	609
無形固定資産合計	54,741	79,808
投資その他の資産		
敷金	15,391	30,542
長期前払費用	1,344	167
繰延税金資産	9,864	—
投資その他の資産合計	26,600	30,709
固定資産合計	123,109	153,389
資産合計	1,228,956	1,279,685

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年12月31日)	当事業年度 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,052	22,316
短期借入金	90,000	60,000
未払金	30,280	44,495
未払費用	23,748	16,058
未払法人税等	26,206	7,919
未払消費税等	13,512	28,373
契約負債	28,761	35,801
預り金	18,235	17,227
その他	1,147	27
流動負債合計	250,944	232,219
負債合計	250,944	232,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	383,999	397,249
資本剰余金		
資本準備金	697,625	710,874
資本剰余金合計	697,625	710,874
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△103,613	△60,657
利益剰余金合計	△103,613	△60,657
株主資本合計	978,011	1,047,466
純資産合計	978,011	1,047,466
負債純資産合計	1,228,956	1,279,685

（2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）	当事業年度 （自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）
売上高	1,232,218	1,464,358
売上原価	216,348	264,830
売上総利益	1,015,869	1,199,528
販売費及び一般管理費	937,804	1,139,419
営業利益	78,065	60,108
営業外収益		
受取利息	91	1,759
保険返戻金	663	—
助成金収入	358	—
還付金収入	64	—
違約金収入	40	856
その他	507	310
営業外収益合計	1,724	2,925
営業外費用		
支払利息	696	931
上場関連費用	20,217	—
事務所移転費用	9,687	—
その他	430	72
営業外費用合計	31,032	1,004
経常利益	48,758	62,030
税引前当期純利益	48,758	62,030
法人税、住民税及び事業税	14,980	9,209
法人税等調整額	17,704	9,864
法人税等合計	32,684	19,074
当期純利益	16,073	42,955

（3）株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2024年 1 月 1 日 至 2024年12月31日）

（単位：千円）

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計		
				繰越利益 剰余金			
当期首残高	99,000	412,625	412,625	△119,686	△119,686	391,938	391,938
当期変動額							
新株の発行	283,562	283,562	283,562			567,124	567,124
新株の発行（新株予約権の行使）	1,437	1,437	1,437			2,875	2,875
当期純利益				16,073	16,073	16,073	16,073
当期変動額合計	284,999	284,999	284,999	16,073	16,073	586,073	586,073
当期末残高	383,999	697,625	697,625	△103,613	△103,613	978,011	978,011

当事業年度（自 2025年 1 月 1 日 至 2025年12月31日）

（単位：千円）

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計		
				繰越利益 剰余金			
当期首残高	383,999	697,625	697,625	△103,613	△103,613	978,011	978,011
当期変動額							
新株の発行	—	—	—			—	—
新株の発行（新株予約権の行使）	13,249	13,249	13,249			26,498	26,498
当期純利益				42,955	42,955	42,955	42,955
当期変動額合計	13,249	13,249	13,249	42,955	42,955	69,454	69,454
当期末残高	397,249	710,874	710,874	△60,657	△60,657	1,047,466	1,047,466

（４）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）	当事業年度 （自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	48,758	62,030
減価償却費及びその他の償却費	25,218	22,793
貸倒引当金の増減額（△は減少）	195	△28
受取利息及び受取配当金	△91	△1,759
支払利息	696	931
上場関連費用	20,217	—
売上債権の増減額（△は増加）	△24,298	6,436
棚卸資産の増減額（△は増加）	7,225	△1,681
前渡金の増減額（△は増加）	18,942	△1,552
前払費用の増減額（△は増加）	△9,110	△8,113
仕入債務の増減額（△は減少）	6,442	3,263
未払金の増減額（△は減少）	△3,170	14,662
契約負債の増減額（△は減少）	14,188	7,039
未払消費税等の増減額（△は減少）	△23,333	14,860
その他	21,641	△17,655
小計	103,520	101,227
利息及び配当金の受取額	91	1,759
利息の支払額	△696	△931
法人税等の支払額	△1,292	△22,718
営業活動によるキャッシュ・フロー	101,623	79,336
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△41,106	△9,684
無形固定資産の取得による支出	△43,317	△38,766
敷金及び保証金の差入による支出	—	△16,112
敷金及び保証金の回収による収入	17,108	—
その他	2,397	1,176
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,918	△63,385
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	90,000	△30,000
長期借入金の返済による支出	△23,975	—
株式の発行による収入	569,999	26,498
上場関連費用の支出	△20,217	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	615,807	△3,501
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	652,512	12,449
現金及び現金同等物の期首残高	319,540	972,053
現金及び現金同等物の期末残高	972,053	984,502

（５）財務諸表に関する注記事項
（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（表示方法の変更に関する注記）
（キャッシュ・フロー計算書関係）

前事業年度において、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「短期借入れによる収入」と表示していた科目名称を、より実態に即した表示とするため、当事業年度より「短期借入金の純増減額（△は減少）」に変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の科目名称を変更しております。

（持分法損益等）
該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社の事業セグメントは、カイクラ事業のみの単一セグメントであり、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

（１株当たり情報）

	前事業年度 (自 2024年 1 月 1 日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年 1 月 1 日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	309.07円	326.69円
1株当たり当期純利益	5.27円	13.48円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	5.08円	13.02円

（注） 1. 当社は、2024年3月27日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から前事業年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2024年 1 月 1 日 至 2024年12月31日)	当事業年度 (自 2025年 1 月 1 日 至 2025年12月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益（千円）	16,073	42,955
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（千円）	16,073	42,955
普通株式の期中平均株式数（株）	3,051,902	3,186,649
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額（千円）	—	—
普通株式増加数（株）	113,307	113,007
（うち新株予約権（株））	(113,307)	(113,007)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

（重要な後発事象）
該当事項はありません。